

核(原子力)と人類は 共存できるのか?

2010年

4月10日(土)

[開場]14:00 [開会]14:30 [閉会]18:00

エルプラザ・ホール

(札幌市北区北8西3)



お話

小出 裕章さん 京都大学原子炉実験所
「今私たちが知っておかなければならない、核・原子力の真実」

斉藤 武一さん 岩内原発問題研究会代表
「原子力発電所と子どもたちの未来 ~泊からの報告~」

コーディネーター

伊藤 太郎さん 元バリ大学客員教授

●参加費 500円●



主催

「核(原子力)と人類は共存できるのか」
講演会実行委員会

〈代表〉遠藤 高弘(歯科医師 医療九条の会・北海道 幹事)
〈事務局〉核戦争に反対する北海道医師・歯科医師の会 医療九条の会・北海道
〈連絡先〉札幌市北区北14西3丁目1-12 医療九条の会・北海道
FAX(011)716-3927 9jyo@dominiren.gr.jp

今年5月に開催されるNPT再検討会議では、核兵器廃絶に向けた現実的なステップが期待されており、世界的に署名やアピール行動が展開されています。オバマ大統領は核兵器を使用した唯一の国の道義的責任として「核兵器廃絶」を宣言し、ノーベル平和賞を受賞しました。が、その一方で米政府は核兵器開発予算を増額しています。いったい、アメリカの本当の考えはどこにあるのでしょうか。

また、イラクでは、一般市民特に子どもたちにガン・白血病が急増しています。湾岸戦争、そしてイラク戦争で大量に使用された劣化ウラン弾がその原因ではないかといわれています。従軍した米軍兵士にも重大な影響がでており、サマワに駐留した自衛隊員（旭川や札幌の）の健康被害も心配です。

一方、エコブームのなかで「地球にやさしい」とばかりに、原子力発電を推進する動きが強まっています。北海道では先日泊原発3号機が営業を開始し、すでに北電の総発電量の4割を原子力が占めるまでになっています。

原子力発電は「トイレなきマンション」といわれ、核廃棄物の処理がつねに問題になってきました。1月には札幌市で核廃棄物の地層処理ワーキングショップが開催されており、北海道が処分場になる可能性が高いと思われます。

このように、「核・原子力」が、「遠い」戦争の場で武器として活用される一方で、「身近な」暮らしの中にどんどん入り込んでいます。なのに、「わからないこと」「隠されていること」がたくさんあります。

この機会に、「核・原子力」についての真実を知って、私たちの暮らしとのかかわりを考えてみませんか。

「核(原子力)は、人類と共存できるのか」 講演会実行委員会

構成 団体

北海道被爆者協会
非核の政府を求める北海道の会
星置9条の会
あいの里9条の会
旭水9条の会
グリーン9条の会
石狩市9条の会
たかさき法律事務所9条の会
勤医協東在宅センター9条の会
道アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会
週間金曜日札幌読者会
イラクサポートプロジェクト(ISP)
核戦争に反対する北海道医師・歯科医師の会
医療九条の会・北海道

賛同 団体

西の里・虹ヶ丘憲法9条の会／新発寒9条の会／えべつ9条の会／琴似9条の会／生協OB9条の会・北海道／HATOS9条の会／北海道労働組合総連合／北海道商工団体連合会／北海道民主医療機関連合会／社民党道連／これからや／みんたる